

社会科における地図ソフトの効果的な活用方法

『データマップ埼玉2』を活用した学習

深谷西小学校（実践・報告者）藤野 清

1 単元名 小学校4年社会 「埼玉県の土地の様子」

2 単元の目標

埼玉県の地形や主な産業の様子に関心をもち、資料を活用して調べ、県の地形と産業との関わりを理解していく中で、県に対する誇りと愛着をもち、埼玉県の特色をとらえることができる。

3 情報教育機器活用の意図

この学習では埼玉県の地形の特徴をとらえることから始まり、それを産業の発展など関連づけて考えていくことが主なねらいである。地形の特徴をとらえるためには平面地図や白地図等を活用していくが、それだけではなかなか実際の地形の特徴はとらえにくい。そこで、『地図ソフトデータマップ埼玉2』を活用して効果的に埼玉県の地形の特徴をとらえさせていく。このソフトは、操作が大変簡単で小学校の4年生でも容易に活用できるものである。また、機能的にも優れ、衛星からの地形写真、3D地図（見る角度、方位を変えることもできる）断面図（どこでも自由に指定できる）平面地図、白地図（交通、産業、文化等の説明情報が動画等で表示できる。）このようないろいろな機能が活用できる。児童が学習を進めていく中で適時活用していくことによって、理解を深めるとともに学習をより意欲的なものにするの役立った。

4 主な学習活動（6時間扱い）

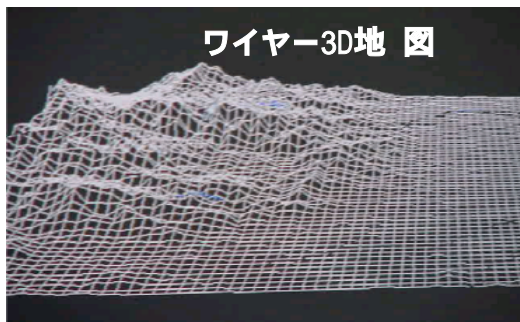
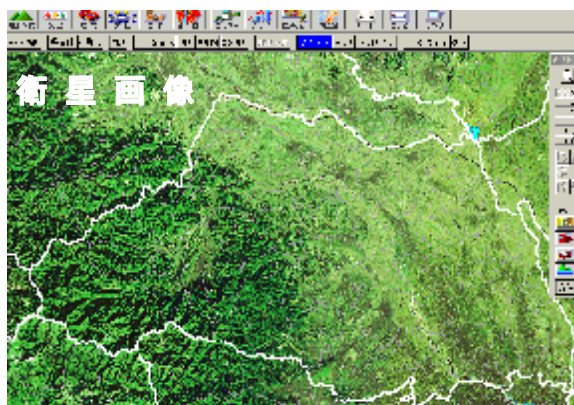
埼玉県内でいったことがあるところの写真や家にあるものを持ちよったりして発表し合う。

- ・発表し合ったことをもとに、学習問題をつかむ。

- ・埼玉県の土地の様子を宇宙からながめてみる。
データマップの衛星画像を活用する。

地形の特色について調べる。

- ・埼玉県の東部、西部の地形の特色を調べる。
データマップの3D地図で、いろいろな角度



から地形の様子を調べる。

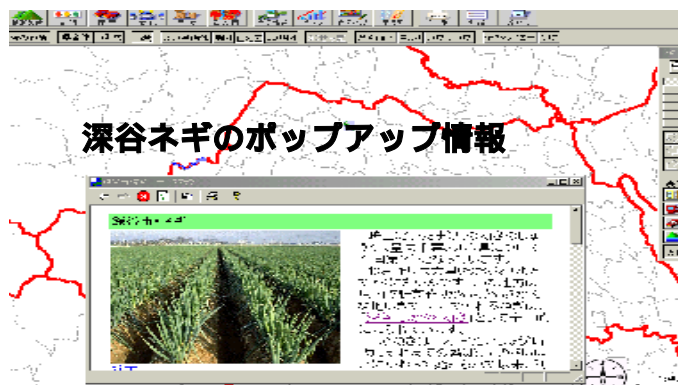
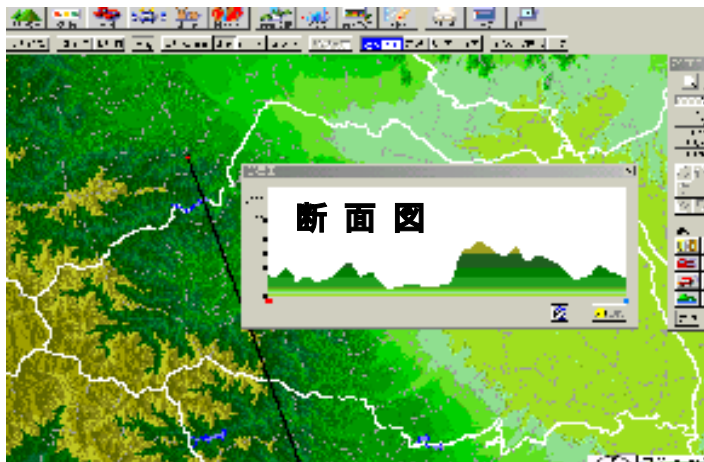
副読本 P118 の地図を参考に、データマップで断面図を見て土地の高低を調べる。

白地図作業で土地の使い方を調べ、地形との関係を調べる

- ・平地と農業・工業・商業・住宅、山地と林業等の関係を考える。
- ・地形と土地利用、人工分布、交通などとのつながりについて考える。

副読本 P120,121 の掲載資料と合わせてデータマップの産業データを活用して調べる。

- ・調べたことを、発表し合う。



埼玉県には、地形や土地利用、産業のほかにもいろいろな特色があることに気づき、今まで学習したことをもとに埼玉県の紹介パンフレットを作成する。

- ・副読本のイラストマップを見て、埼玉県にはいろいろな特色があることに気づく。
- ・自然、歴史、施設、伝統工芸、芸能文化、人物などいろいろな特色を調べる。

データマップで産業文化、施設等の情報アイコン表示させ、ポップアップ情報を見ながら埼玉県内をマップ旅行をする。



- ・必要な情報は印刷して、パンフレットに利用する。
- ・できあがった、埼玉県の紹介パンフレットを印刷して配布し合う。

5 おわりに

『地図ソフトデータマップ埼玉2』は、深谷市内のほとんどの学校が所有しているソフトである。機能的には4年生の社会科学学習に大変マッチしている。児童個々の学習ニーズ、学習ペースに応じた学習を可能にし、その結果、意欲的に学習に取り組む姿が多く見られた。副読本、図書などと兼ね合わせて活用していくことにより、埼玉県の特徴をより良く理解させることができる、すばらしい学習ソフトである。

